



2025 年 6 月 16 日

暑熱環境下の激しい運動から、子供の熱中症リスクゼロをめざす**— ただ水分・塩分・冷やすだけじゃない。熱中症対策最先端の研究からの知見 —**

大正製薬株式会社（以下、当社）は、名古屋グランパスアカデミーと共同で、アカデミーのコーチ・トレーナーに対して、熱中症のリスクゼロをめざす勉強会を実施いたします。名古屋グランパスアカデミーでは、暑熱環境がピークに達する前の4～5月に掛けて、アカデミーに通う子供の保護者98名に熱中症実態調査を実施しました。その結果、実に半数が、「これまで子供が軽度でも熱中症を発症したと感じられる」と回答。対策はされていますが、夏場は常にリスクがつきまといます。暑さから子供たちの健康を守るために、熱中症対策における最先端の研究から情報提供を行います。

■令和7年4～5月 名古屋グランパスアカデミー調査対象：アカデミーに所属する子供の保護者98名

夏場における子供の
熱中症（軽症含む）
発症を感じたことは
ありますか？

ない 51%
ある 49%

夏場(5月～8月末)に
お子様に対して
熱中症対策はして
いますか？

していない 3%
している 97%

子供は大人に比べて熱中症になりやすい傾向にあります。これは、体温調整機能が未発達で汗をかきにくい、体内の水分の割合が高いなどの理由で、暑さの影響をより強く受けるためです。愛知県は、7歳～18歳未満の熱中症搬送者数が全国で3番目に多く、特に小学校・中学校などの教育機関以外で発生の割合が高い傾向にあります。今年も厳しい暑さ予報が出ており、細心の注意が必要です。

■令和6年 総務省 消防庁 「熱中症による救急搬送状況」

教育機関（小学校、中学校、高等学校等）と教育機関以外の搬送者数の割合は、搬送者数より算出

令和6年 5/1～9/30	
都道府県	7歳～18歳未満 熱中症搬送者数
大阪府	648
神奈川県	518
愛知県	516
東京都	451

左記上位4都府県	
都道府県	教育機関の 搬送者数の割合
東京都	51.2%
神奈川県	49.2%
大阪府	46.5%
愛知県	43.8%

左記上位4都府県	
都道府県	教育機関以外の 搬送者数の割合
愛知県	56.2%
大阪府	53.5%
神奈川県	50.8%
東京都	48.8%

■開催概要

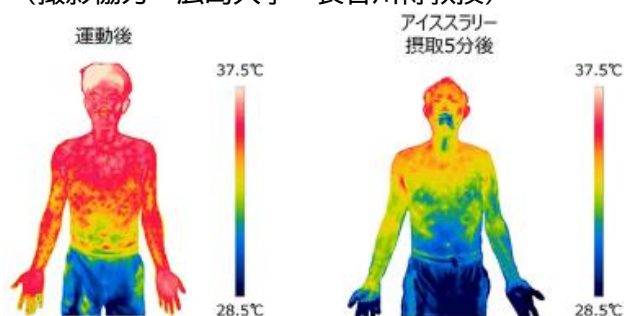
- ・日 時：2025 年 6 月 26 日（木）14:30～15:30
- ・場 所：名古屋グランパスクラブハウス(トヨタスポーツセンター内)
- ・内 容：夏の熱中症対策に向けて効果的に身体を冷やすアイススラリーのメカニズム
：夏の運動時における効果的な熱中症対策
：食事・睡眠など普段の生活で気を付けるポイント ほか
- ・講 師：大正製薬株式会社 商品開発部

「アイススラリー」は、液体と微細な氷の粒が混ざったシャーベット状の飲料で、体の深部体温を効率的に下げることができる新しい熱中症対策手段です。運動パフォーマンスの維持にも効果があるとされ、注目を集めています。

この技術は、広島大学の長谷川教授によって開発されました。教授は、1993年の「ドーハの悲劇」に衝撃を受け、「なぜ最後にバテてしまったのか」という疑問から運動生理学の道へ進みました。大正製薬と共同で行った研究では、アイススラリーの摂取により、暑熱環境下での深部体温の上昇抑制や注意力の維持が科学的に確認されています。

■暑熱環境下における運動後のアイススラリー飲用による身体冷却イメージ

(撮影協力：広島大学 長谷川博教授)



当日は、皆様にアイススラリーをご試飲いただけます。勉強会後には、アカデミーに所属するメンバーを早ければ16：45ごろから撮影することも可能です。

■名古屋グランパスアカデミーのメンバー



本勉強会を通じて、現場の指導者が最新の知見を学び、選手の安全とパフォーマンス向上に寄与することを目指します。

<本件に関する報道機関からのお問い合わせ先>

大正製薬株式会社 メディア推進部 03-6382-7302
星 新児 s-hoshi@taisho.co.jp